

## ダスキンの健康経営®とは

ダスキンの健康経営®の基本的な考え方は、創業以来培ってきた「祈りの経営」の理念に基づき、働きさんとその家族の健康維持・増進に取り組み、生きがいのある健康で心も豊かな生活の実現を図るとともに、会社の健全な発展に努め、人に社会に、喜びのタネをまき続けること。

働きさんの健康管理を「経営上のコスト」ではなく、将来に向けた「投資」ととらえ、長期的なビジョンに基づき実践しています。

### ■「健康宣言」をしている事業所

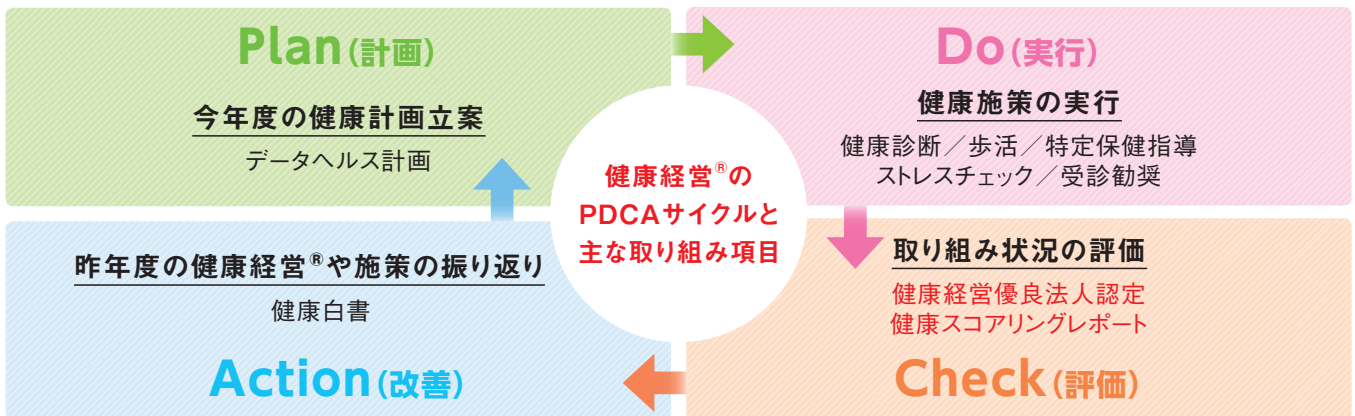
「健康宣言」は、経営者とその意義や重要性を認識し、その考え（理念）を社内外に示すものです。

25(23法人、2公法人)の適用事業所が健康宣言をしています。 ※2021年3月末現在

(株)ダスキン	(株)ダスキン伊那	(株)ダスキンプロダクト九州
(株)ダスキンヘルスケア	(株)ダスキン沖縄	(株)エパーフレッシュ函館
(株)ダスキンサーヴ北海道	(株)和倉ダスキン	公益財団法人ダスキン愛の輪基金
(株)ダスキンサーヴ東北	(株)小野ダスキン	ダスキン共益(株)
(株)ダスキンサーヴ北関東	(株)ダスキンプロダクト北海道	ダスキン健康保険組合
(株)ダスキンサーヴ東海北陸	(株)ダスキンプロダクト東北	※関連会社の株式会社ダスキン八代、株式会社
(株)ダスキンサーヴ近畿	(株)ダスキンプロダクト東関東	ダスキン鹿児島も宣言を公表(2社が加入する
(株)ダスキンサーヴ中国四国	(株)ダスキンプロダクト西関東	保険者は協会けんぽです)
(株)ダスキンサーヴ九州	(株)ダスキンプロダクト東海	
(株)ダスキンシャトル東京	(株)ダスキンプロダクト中四国	

### ■PDCAで取り組む健康経営®の実践

健康経営®の実践は、PDCAサイクルに基づき、**事業所・会社、健康保険組合、労働組合と働きさんの代表**による三位一体の体制で取り組んでいます。



#### 健康経営優良法人認定制度

健康経営®に取り組む優良な法人を「見える化」し、「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業」として社会的に評価を受けることができる顕彰制度です。

健康宣言を通じて、PDCAサイクルで健康づくりを推進する「健康経営®」に取り組み、働きさんが心身ともに健康な状態で働ける環境を整えることが重要です。

#### 健康スコアリングレポート

厚生労働省・経済産業省・日本健康会議が連携して作成。当組合員の健康状態や医療費、予防・健康づくりへの取組状況などを、「全健保組合の平均」や「業態の平均」と比較したデータの経年変化を見える化した「成績表」です。

※「健康スコアリングレポート」は前々年度(2018年度)データをもとに作成されています。

※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

健康経営優良法人2021の認定取得事業所

5回目となる今回は、大規模法人部門(上位法人には「ホワイト500」の冠を付加する)に1801法人が、中小規模法人部門に7934法人(上位法人には「ブライツ500」の冠を付加する)が、日本健康会議より認定されています。

ダスキン健康保険組合の適用事業所では、21事業所(20法人、1公法人)が認定されました。

※2021年3月4日現在



大規模法人部門

- (株)ダスキン
- (株)ダスキンヘルスケア
- (株)ダスキンサーヴ北海道
- (株)ダスキンサーヴ東北
- (株)ダスキンサーヴ北関東
- (株)ダスキンサーヴ中国四国
- (株)ダスキンサーヴ九州

中小規模法人部門

- (株)ダスキンシャトル東京
- (株)ダスキンサーヴ近畿
- (株)ダスキン伊那
- (株)ダスキン沖縄
- (株)小野ダスキン
- (株)和倉ダスキン
- (株)ダスキンプロダクト北海道
- (株)ダスキンプロダクト東北
- (株)ダスキンプロダクト東関東
- (株)ダスキンプロダクト西関東
- (株)ダスキンプロダクト東海
- (株)ダスキンプロダクト中四国
- ダスキン健康保険組合
- ダスキン共益株式会社

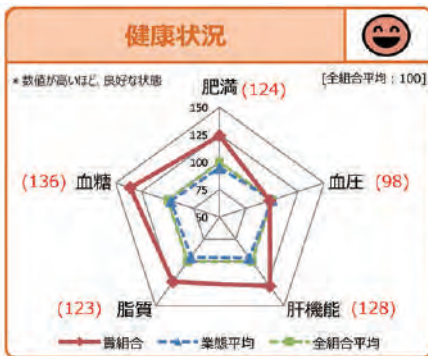
※関連会社の株式会社ダスキン八代、株式会社ダスキン鹿児島も認定(2社が加入する保険者は協会けんぽです)  
 ※ダスキン健康保険組合は健康経営優良法人ブライツ500に認定されました。

健康スコアリングレポート(抜粋)

2020年12月14日配信の健康保険組合ホームページ  
 新着ニュース「健康スコアリングレポート2020年度版のご案内」にてご紹介しています。



【生活習慣病リスク保有者の割合】



リスク	良好	中央値と同等程度	不良
肥満リスク	😊	😐	😞
血圧リスク	😊	😐	😞
肝機能リスク	😊	😐	😞
脂質リスク	😊	😐	😞
血糖リスク	😊	😐	😞

※2018年度に特定健診を受けた者のみのデータを集計。

2018年度の特健診結果によると、特に血圧のリスクが顕著です。脳梗塞、動脈硬化、心筋梗塞などの循環器系疾患につながる重要な因子です。2020年度の医療費の高騰は循環器系の疾患によるものが大きく影響しました。

なお、被扶養者の一番のリスク項目は脂質が全組合平均100に対し84でした。

【適正な生活習慣を有する方の割合】



リスク	良好	中央値と同等程度	不良	ランクUP率 <sup>(*)</sup>
喫煙習慣リスク	😊	😐	😞	あと47人
運動習慣リスク	😊	😐	😞	最上位です
飲酒習慣リスク	😊	😐	😞	あと74人
食生活習慣リスク	😊	😐	😞	最上位です
睡眠習慣リスク	😊	😐	😞	あと37人

※2018年度に特定健診を受けた者のみのデータを集計。

※生活習慣リスクについては、一部任意項目であるため、被扶養者が保有しているデータのみで集計。

※上位10%は業態ごとの総合スコア上位10%の平均値を表示。ただし、業態内の組合数が20以下の場合、全組合の総合スコア上位10%の平均値を表示。

(\*)「ランクUP」は、5段階評価のうち1つ以上上がった組合(リスク改善率を向上させた)を記載。

当健保の一番の課題は喫煙習慣リスクです。

全組合平均100(中央値)に対し96でした。喫煙は、本人だけでなく受動喫煙にも影響を及ぼす大きな因子です。禁煙プログラムなどを使って改善にチャレンジください。

2017年から開始したkencomのウォーキングイベント「歩活」をきっかけに、運動習慣がある方が増加していますが、2020年度はコロナ禍で運動習慣が減った方も居られます。オンラインの運動プログラムなども利用し、運動習慣を日常に取り入れてください。